

表示・広告・キャンペーンのコンプライアンスと判断の実務上のポイント

《開催要領》 ※講師とご同業の方のご参加はお断りする場合がございます。※最少催行人数に満たない場合、開催中止とさせていただきます。

日時▶ 2018年 11月 29日(木) 14:00~17:00

会場▶ 企業研究会セミナールーム(東京:麹町)

《ご参加頂きたい方》

マーケティング・広告・営業企画部門、法務部門・コンプライアンス部門等のご担当者様

※講師とご同業、同職種の方は、ご参加いただけない場合がございます。予めご了承ください。

講師 池田・染谷法律事務所 弁護士 池田毅 氏

【略歴】 2002年京都大学法学部卒業。2003年弁護士登録。2005年~2007年公正取引委員会審査局にて、独禁法に加え景表法違反事件を担当。2008年カリフォルニア大学バークレー校修了(LL.M.)。2009年森・濱田松本法律事務所。2018年池田・染谷法律事務所設立。
近著として、「かけ算で理解する独禁法の道標4 景表法と消費者契約法」「経済法判例・審決百選[第2版]」(執筆参加)など多数。

《申込方法》 当会ホームページ (https://www.bri.or.jp) からお申し込み下さい。

企業研究会Q 検索

受講料: 1名(税込・資料代含) ※申込書をFAXでご送信いただく際は、ご使用のFAX機の使用法(0発信の有無など)をご確認の上、FAX番号をお間違えないようご注意ください。

正会員 34,560円(本体価格 32,000円) 一般 37,800円(本体価格 35,000円)

181836-0303 (※) 表示・広告・キャンペーンのコンプライアンスと判断の実務上のポイント			
ふりがな 会社名			
住所			
TEL	FAX		
ふりがな ご氏名	所 属 役 職		
E-mail			

※申込書にご記入頂いた個人情報は、本研究会に関する確認・連絡および当会主催事業のご案内をお送りする際に利用させていただきます。

■申込・参加要領 : 当会ホームページからお申込みください。FAX、または下記担当者宛E-mailからもお申込み頂けます。

後日(開催日1週間~10日前までに)受講票・請求書をお送り致します。

※よくあるご質問(FAQ)は当会HPにてご確認いただけます。([TOP]→[公開セミナー]→[よくあるご質問])

※お申し込み後のキャンセルはお受け致しかねますので、ご都合が悪くなった場合、代理出席をお願いします。

■お申込・お問合わせ先: 企業研究会 公開セミナー事業グループ 担当/民秋・川守田 E-mail: tamiaki@bri.or.jp

TEL: 03-5215-3514 FAX: 03-5215-0951 〒102-0083 東京都千代田区麹町5-7-2 MFPR 麹町ビル 2F

・プログラム・

■開催にあたって■

2016年4月の改正景品表示法に基づく課徴金制度の施行後、消費者庁は景品表示法の執行をこれまでになく活発化しています。2017年度には、50件もの措置命令が発出されただけでなく、とくに大企業・著名企業にフォーカスした多数の執行が見受けられました。さらに、消費者庁は打消し表示に対する見方を厳格化させるなどしており、執行の激化の流れはとどまるところを知らません。このように表示に対する法執行が強化され、多様化するのに伴って、消費者の監視の目もこれまでになく厳しくなっており、表示問題を起こした場合に企業が被るレピュテーションへのダメージは計り知れません。

表示規制に加え、景品規制も、公表事案となる措置命令の事案こそほぼ見られないものの、公表事案を欠かため、必然的に遠い昔に制定された運用規準等だけが解釈のよりどころとなりますが、これらはインターネット取引など現代社会における高度かつ複雑な取引を前提としたものではありません。具体的な事案にどのようにあてはめて解釈すべきか、事業者の皆様にとって頭の痛い問題です。

このような状況の下で、景品表示法に関するコンプライアンス体制の見直し・強化は、多くの企業にとって喫緊の課題です。一方で、景品表示法は抽象的な条文しかなく、グレーゾーンの事案をどのように判断すべきか悩んでいるという企業の声をよく耳にします。本セミナーでは、公取委在任中に景品表示法違反事件の審判を担当し、弁護士実務復帰後も日常的に多数の措置命令案件を含む消費者庁による調査案件を担当して表示規制の実務に精通する講師が、景品表示法の概要と実務的な対応策を解説します。

1. 景品表示法のリスクの本質

2. 表示規制のポイント

- (1) 課徴金制度について実務上知っておくべきこと
- (2) 消費者庁による執行のトレンド
 - ・アフィリエイト広告規制、打消し表示、キャンペーンの継続等

3. 景品規制のポイント

- (1) 景品規制の考え方のフロー
- (2) 実務上悩ましい論点の考え方
 - ・提携キャンペーンやポイント付与制度 など

4. 表示コンプライアンスとリスクマネジメント

- ・表示等管理体制の構築や見直しのポイント

※最少催行人数に満たない場合、開催中止となる場合があります。

裏面もご覧下さい! 一枚のパンフレットで 2種類のセミナーをご案内しております。